

令和3年1月25日

全校集会 校長講和

「学校の灯を消さないために」
～ 緊急事態宣言（2回目）を受けて ～

全校生徒のみなさん、おはようございます。3学期がスタートして、早、3週間が過ぎ、1月も残すところ今週のみとなりました。皆さんにおいては、新年を迎え、「今年こそは、1日でも早く新型コロナ感染症が収束し、制約や制限のない、以前のような日常生活に戻りたい」。心からそう願って3学期をスタートしたことでしょう。しかし、現実は大変厳しく、日に日に感染者数は拡大し、これまで以上の感染症防止の対策を講じて生活を送っていかなければならない毎日となっています。先行きも見通しにくく、不安・心配が付きない現在の状況ですが、私の気分は、決して憂鬱にはなっていません。もっと正しく言うならば、実際、暗くどんよりとした曇り空のような気持ちになりかけているのですが、朝学校に来て、生徒の皆さんや先生方と会うと、心が晴れやかになってくるのです。雲がすっと抜けて行って、輝く暖かい太陽の光を浴びるかのような、そんな感覚です。朝、正門で交わす藤中生の皆さんとの挨拶、協力して給食の配膳をしているあなたたちの姿、技を磨き、仲間との絆を固めようと一生懸命打ち込んでいる1・2年生の部活動の姿、どの場面をとっても私は、皆さんから元気をいただいています。生徒が躍動する学校は、これからも、閉じてはならない。みんなで感染に気を付けて、共に笑顔で「3学期というゴールテープ」を切りましょう。

そのために、ぜひ、今からお話することを聴いてください。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国は、大阪府全域に「緊急事態宣言」を発令しました。期間は1月14日～2月7日まで、藤井寺で生活する私たちは、現在、緊急事態宣言のさ中です。

今回の緊急事態宣言の意図は、「医療が崩壊の危機を迎えている。病院が今までのように機能しなくなってきているのです。必要な人に必要な医療が届かないという危険が間近に迫っている。そして、特に高齢の方がお亡くなりになる、その数が増え続けている。この流れを大阪府のすべての人々の心を込めた行動で、食い止めることだ」と、私は理解しています。社会のあらゆる分野で新規の感染者を一人でも減らすことが不可欠であり、学校も、それは例外ではない。私たち中学生も例外ではありません。皆で結束した力が、心が、今こそ必要なのだと思います。

では、今、私たちには、何ができるのでしょうか。決して難しいことではありません。

具体的に、私たちが、学校のできることを、今一度確認しますね。

- 1つ。「朝、家で体温を測って、平熱であることを確認して登校しましょう。」
- 1つ。「原則、マスクをきっちり、しっかり付けて生活を送りましょう。友達としゃべる時は必ずです。」
- 1つ。「教室の換気。寒い日が続き、辛いですが、先生とも話し合っ、工夫した換気を取りましょう。」
- 1つ。給食時間、これマジの話、私たちの行動は大切です。ウイルスを侵入させない。誰一人として感染してはなりません。給食時間が一番リスクの高い時間帯です。藤中は、安心・安全な給食を実施するモデル校。このこと、私は声高らかに宣言し、皆さんといっしょに目指したいのです。
- 1つ。「手洗い・うがい　そして消毒を頻繁に。」

以上、5つの行動を貫いていきましょう。私たちの唯一無二の藤中ライフを、ずっとずっと途絶えさせないために！

最後に、本日　午後、3年生は、大阪私立高校願書提出、出願ですね。気をつけていてらっしゃい。以上、私の話とします。